

『帰路』川島 照代画

## 理念

- 安心・安全・やすらぎ・心のこもったサービスを提供します。
- 地域・住民・患者から評価・信頼される医療を提供します。
- 絶えざる改善と生涯教育を継続し、職員個々の能力を向上します。

## 運営方針

- 整形外科の専門病院として、良質の医療を提供できるように最善の努力をします。
- 患者、利用者の権利を尊重し、インフォームド・コンセント(説明・同意・納得)を含む安全管理を徹底します。
- 「医は仁ならざるの術、務めて仁をなさんと欲す」の精神を尊重します。
- 社会の変化にしなやかに対応しながら心技態を切磋琢磨し、全人間的な成長を目指します。
- 地域の皆様の健康と生命を守るために最善を尽くします。
- 職業を通じて地域社会に奉仕し、地域の社会的共通資本として認められるように努力します。
- 高齢化社会を迎え、安心・安全と心のこもった医療・介護を提供します。

# 関節リウマチに対する最近の治療について

社会医療法人 玄真堂 川崙整形外科病院

院長 川崙 眞之



関節リウマチは、手・指をはじめとした全身の関節に腫れや痛みが生じる炎症性の病気で、日本での罹患率は0.6〜1%といわれています。中年女性に好発するといわれていますが、男性や高年発症の方も少なくありません。多くは手や膝、肩、足などの関節に左右対称性に症状が現れますが、はじめは一か所しか生じないこともあります。私が医師になった頃には慢性関節リウマチといわれていました。発症1〜2年で急速に骨関節破壊が進むことも多いため、その後、関節リウマチと改められました。

関節リウマチは免疫の異常が関与していますが、その原因はまだはっきりしておらず、遺伝的素因のある方にタバコや感染症等の後天的な要素が関与して発症すると考えられています。以前より複数のウイルスが関節リウマチの発症に関連があるといわれてきましたが、最近、新型コロナウイルスの感染後やワクチン接種後に関節リウマチ等が発症した、あるいは増悪したとの報告が散見され、私もそのような患者さんを経験しました。今後の調査・研究で明らかになることを期待したいと思います。



免疫抑制薬（メトトレキサート）や生物学的製剤による治療が日本に導入されて約20年になり、その間、従来の治療では効果がみられなかった患者さんにも大きな治療効果が得られるようになりました。大分医科大学での研修医時代、当時の鳥巢岳彦教授、藤川陽祐講師の下で生物学的製剤インフリキシマブの臨床試験の患者さんに関わらせて頂いたことから関節リウマチの治療に興味を持つようになりました。その後、しばらくは薬の選択肢が少ない時代がありました。最近では様々な生物学的製剤をはじめ、内服薬のJAK阻害薬も多種類使用することが可能となり、隔世の感があります。ただ当時の薬はいまだにかなり高額であり、特に3割負担を強いられる若年者にはなかなか治療に

進むハードルが高い現状があります。



関節リウマチによる骨関節破壊を防ぐには、早期診断・早期治療が重要です。高額療養費負担軽減制度等の利用や薬物投与量の調整等のきめ細やかな対応により、若い患者さんのほかご高齢の方も幅広い世代の患者さんが地元で十分な治療を受けられるよう尽力していきたいと思えます。（関節リウマチと比べて少ない疾患ではありますが、強い脊椎椎炎や乾癬性関節炎、掌蹠膿疱症性骨関節炎などの類縁疾患の治療にも取り組んでいます。）

# 医学史からみた パンデミックとの闘い

## —温故創新—

社会医療法人玄真堂 川島整形外科病院

理事長 川島 真人

### 第1章 現在の新型コロナウイルス感染症とその行方

昨年(2022年)11月26日、

大分市ホテル日航オアシスタワーにて、九州医師会連合会総会並びに医学会が河野幸治大分県医師会長の主催で行われた。私は前大分県医師会長の近藤稔先生の推薦を得て特別講演をすることになった(図1)。日本医師会からは現21代会長松本吉郎先生をはじめ第19代会長横倉義武先生、更に九州各県の医師会会長や理事の大勢の先生方の出席を得てお話をすることが出来、真に光栄なことと思っている。

私のテーマは「医学史からみたパンデミックとの闘い—温故創新—」であった。2019年から3年間にわたって続いているコロナパンデミックの医学史的背景について会員への参考になればということでお話をする機会をいただいた。



図1. 九州医師会大会で講演

2023年3月3日時点に於いては全世界で6億5百万人が感染し、687万人が死亡している。正にスペイン風邪以来のパンデミック(感染症の世界的大流行)となっている。新型コロナウイルスが中国の武漢で発生して以来、全世界に限なく拡大し、日本に於いても3年間の累計で3千3百万人が感染し、7万2千人が死亡している。大分県に於いても30万

人が感染し755人が死亡している。この様な100年に一度の感染症であるが、その後、感染対策並びにマスク着用等の徹底、ワクチン及び抗ウイルス剤の普及等、様々な対策によって3月2日現在の県では1日115人と数が減ってきた。この様な中で、このまま感染症第2分類にするのが良いのかどうか議論され、2類分類から5類への「新型インフルエンザ並」に5月8日から移行することが決定された。横浜市立大学の調査では、死亡率は徐々に低下しインフルエンザの死亡率(0.05〜0.5%)並みに近づいてきており(図2)、第8波では0.18%となってきた。この様な情勢から5類に移行するのは、やむを得ないことであろう。その後、様々な強制的措置が解除され、マスク着用も3月13日からは個人責任となる。一時的には新しいウイルスによって拡がる可能性もあるが、世界的な傾向としてマスク着用等は解除されており、どこの国に於いても従来の様な伝染病の扱いは異なってくることは確

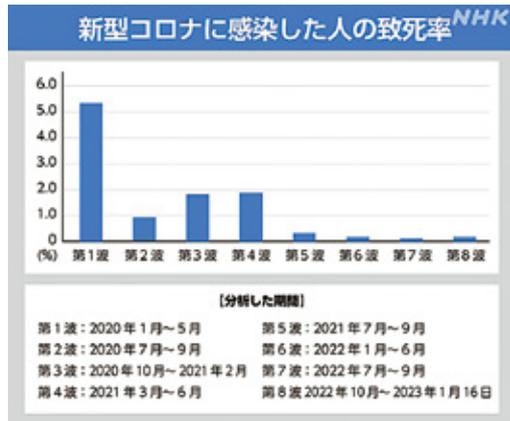


図2. 日本の致死率 NHKのデータより

かであろう。ただ米国ではXBB.1.5という変異株が感染者の61%を占めているが、感染率は高いものの死亡率は現在のBA.5と変わらず、例え新しい感染症が拡がっても、対応に手抜きがなければ何とかこの1年で乗り越えて行けるのではないだろうか。ただワクチンは半年か1年間隔で継続しなければならぬという予想である。

### 第2章 医学史から見たコロナ

新型コロナウイルス等のパンデミックは、70%以上は人類共通感染症で、動物由来といわれている。感染の源が武漢から始まったことは知られているが、それがどの様な事情で動物から經由していった

か、今だ不明な点が多い。しかしながら、コロナウイルスは既に1960年代から日本の風邪の30%を占めており、4種類のウイルスが知られていた。このウイルスの表面に突起があり「太陽のコロナ」に見えることから「コロナウイルス」と命名された様である。タミフルの様な100%の効果は期待出来なくても安価で何処でも入手できる薬が少しずつ開発されてきており、いざれインフルエンザと同様な扱いに成ってくることは間違い無である。このコロナウイルスが注目されたのは2002年、中国南部の広東省を起源とした重篤な非定型性肺炎の世界的規模の集団発生でSARSといわれるものがあつた(図3)。これは32の地域と国に渡り8千人を超える感染者、死亡者774名、死亡率9.6%であつた。次にMARS(中東呼吸器症候群)といわれるものが2012年9月にロンドンで確認された(図4)。これはヒトコブラクダが中間宿主とされ、ラクダの未加熱肉や未殺菌乳の摂取が感染源と言われている。中東を中心に拡散し、2574人が感染して886人が死亡、

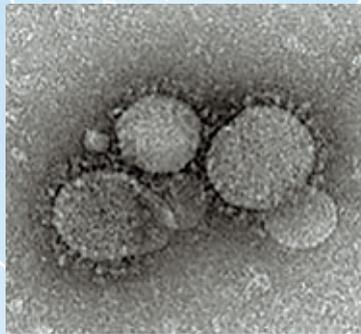


図4. MARSウイルス

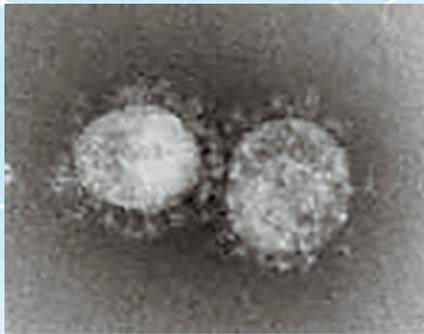


図3. SARSウイルス

天然痘並みの高い死亡率34・4%であった。しかしながら、中国、韓国まで拡がってきたものの、日本には上陸しなかったために、マスクやPCRの機械等の多くを輸出してしまいい、2019年の新型コロナウイルスの日本上陸時点では、殆ど無防備な状態で対応を迫られ、パニック状態であったことは間違いない。今回と同じような感染症のパンデミックが100年前にあったことは良

く知られており、一般的にはスペイン風邪と言われている。

### 第3章 スペイン風邪について

スペイン風邪の始まりは1918年3月4日、米国カンザス州ファンストン基地の診療所から発症し、1000人以上が感染、48人が死亡している(図5)。この基地の近くにカナダ雁の越冬地があり、直ぐ近くの畜舎の豚にウイルスが感染し、体内で変異して人に感染し肺炎となった。当時、第一次世界大戦が始まり、多くの感染した兵士達が欧州に派遣され、全世界を揺るがすパンデミックとなった。既にスペインでは政府の要人等が次々と感染し、当時、中立国であったため新聞で発表したところ、「スペイン風邪」にされてしまった。ドイツにも蔓延し、戦死者よりも感染者が多くなり、結果として5億人が感染し5千万人が亡くなったと言われている。日本では1918年4月、当時日本領の台湾巡業中の力士3名が死亡したことから大騒ぎとなった。本土上陸は10月で、第1波の流行では25万7千人が死亡し死亡率1・22%、第2波では12万8千人が死亡し



図5. ファンストン基地



図6. 日本を襲ったスペイン風邪

死亡率5・29%、第3波で3600人が死亡し死亡率1・65%で、最終的には2379万人が感染し39万人が死亡し死亡率1・63%であった(図6)。今回の新型コロナウイルスが数派に分けて襲ってくることから極めてスペイン風邪に類似しているの、スペイン風邪について検討する価値がある。  
アラスカ州ブレビグミッ

シオンという村に72名の村人がスペイン風邪で亡くなったという記録があり、そのことをスウェーデンから米国に渡りアイオワ州立大学で免疫学を学んでいたヨハン・フルティンが関心をもち、それがどの様なウイルスであったか自ら北極の地まで出かけて行き、永久凍土に埋葬されている犠牲者を見つけようとした(図7)。村の許可を得て遺体を掘り起こし、ウイルスを持つと思われる遺体を持ち帰り調べたが、当時はPCR法等存在せずウイルスは不明となつてしまった。1979年、72歳となったフルティンは、ジェフリー・トローベンバリーがPCR法を用いてスペイン風邪のウイルスの遺伝子解析を行っていることを知り、再度ブレビグミッシオンに赴き、埋葬された女性の遺体の肺から検体を採取し、その検体を米国陸軍病理学研究所に寄贈したところ、今日のA型インフルエンザであった。H

1N1型のウイルスは全てこのウイルスに由来することが、その後明らかになった。私達が苦しめられている新型コロナウイルスも何れこの様な形に成つて行くのかも知れない。パンデミックとは、国境や大陸を超え世界中で感染が大流行することを意味する。その中で歴史に残る大流行となつた感染症は幾つか知られているが、スペイン風邪と同じく、ペスト、天然痘も知られている(図8)。



図7. ブレビグミッシオン村

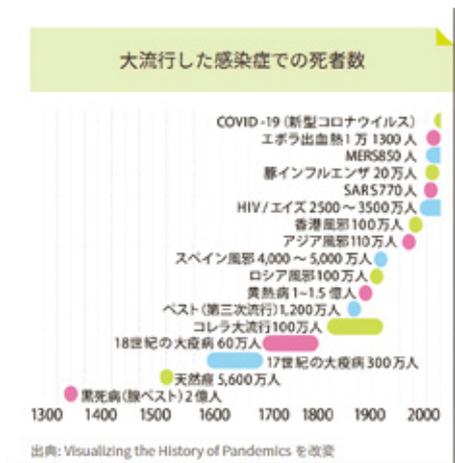


図8. パンデミックの死者数

お疲れ様でした！

## 退任のご挨拶



医師 太田 克樹

この3月を持ちまして川島整形外科病院での勤務を終え、4月からは埼玉県の病院で勤務することとなりました。住み慣れた九州の地をしばらく離れなければならないこともあり、とても寂しく思っています。1年と短い間でしたが、理事長先生や院長先生をはじめとした先生方、コメディカルの方々など診療に関わっていただいた皆様からはもちろん、診療させていただきました患者様たちからも大変多くの学びや気付きを与えていただき、とても充実

した1年間でした。感謝の気持ちでいっぱいです。

今度は自分が皆様に何か少しでも役に立てるように、川島整形外科病院で得られたことを生かして、整形外科医として真摯に診療に向き合い、引き続き精進していきたいと思えます。そして、機会がありましたら、またここで働くことを願っています。

最後になりますが、ここまですべての地域に根差し、地域の患者様たちから支持を得ている病院は今までにありませんでした。そんな川島整形外科病院の末永い繁栄を祈念して、退任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

## 退任のご挨拶



医師 半田 和佳

この度、医局人事にて3月をもって川島整形外科病院を退任する運びとなりました。

生まれて初めての九州で不安はたくさんありましたが、病院のスタッフの皆様、患者さん、すべての方に支えられました。整形外科医になってから腫瘍病院、大学病院での勤務をしてきたため、当院では患者さんが自宅に帰るまでを見ることができ、大変勉強になりました。体力・筋力のある場面も多いため整形外科の女性医師は珍しいですが、

当院の先生方はもちろんすべてのスタッフの方が気にかけてくださり大変助かりました。患者さんからも女性の先生でよかったですと言っていただけ場面が多くあり、やりがいを感じました。整形外科単科の病院ですが困ったときは近隣の医療機関の先生方に相談に乗っていただいたり、また当院退院後の様子を電話で教えていただくこともありました。働きやすい環境を提供いただき感謝しております。

最後になりましたが、すべての先生方、スタッフの方々、大変お世話になりました。4月からは関東へ戻る形になりますが、この病院での経験で得たものを活かして、今後も精進していこうと思います。

# 社会医療法人 玄真堂 令和5年度入職式

事務局 総務部 副主任 瀬口 清美

今年の入職式も青い空そして満開の桜、春色の和やかな季節に包まれて始まりました。

今年には新卒者11名、既卒者7名の合計18名が入職致しました。

毎年入職式をおこないますが、今年度はおもてなしの気持ちでさらに込めて：春のクラシック音楽を静かに流しながら執り行いました。

4月1日は、『新しい生活の始まりの日』ですね。多くの方々がこの法人に入職してよかったです！  
と思えるような環境でお迎えてきていたら嬉しく思います。

いつもなら、入職式直後に新人研修が始まるのですが、今回は1日が土曜日ということもあり、すこしオリエンテーションの時間に余裕がありましたので、新入職員の自己紹介の時間をもうけました。

うすピンク色の桜の花びらが風にひらひら舞う景色が目に入る中、まったくの新卒の方も、社会経験や臨床経験もある既卒者の方も含め、新入職員全員が円陣になり自分の



趣味や院内散策での感想を話してくれました。

同席した幹部の方もご自身の趣味やご家族の事、人生観やこれからやってみたいことなどをお話していました。それぞれのお人柄がわかる話で、とても楽しいひと時でした。

来年はさらに多くの幹部の方が参加されてこのような時間だとすると、より有意義なものではないかと感じました。今年の新入職員さんはそれぞれの個性を大切にしながらも礼儀正しい方々ばかりで本当に今後が楽しみです。

## 健康教室

サービス接遇向上委員長  
管理栄養士 深川 明美

当院では年7〜8回、土曜日の午後に健康教室を開催しています。

整形外科疾患を中心に「健康」に関して様々な角度から情報提供を行っています。

各回の講師は、当法人の医師を始め各専門職が担当し、参加者の皆様に関心を持って頂ける内容となっております。

今年度は  
●「整形」と「形成」と「美容整形」の違い

●からだがよろこぶ栄養

●変形性膝関節症の予防と治療

●転倒予防について

●「これであなただも おくすりマイスター」を知って楽しい15のこと

●老けない習慣〜アンチエイジング〜

●当院における腱板断裂の治療〜現在と未来〜

●コロナ禍の影響により前年度は開催が出来ない月もありましたが、本年度はワクチン接種をしている方を対象に、リモート

会場を準備し、玄真堂ホールでの人数制限の下、開催、入院中の患者様に於いては、各病室のベッドサイドのテレビにて同時放映にてご視聴いただくなどの感染対策を行っています。

健康教室に参加することで、病気の早期発見や早期治療、また健康の維持・増進へのきっかけとなれば幸いです。当法人では今後も健康教室を通し、皆様の健康に役立つ情報を発信していきたいと思っております。院内のポスター掲示や、チラシにて開催のお知らせを行っています。是非、ご参加ください。



# 第40回 玄真堂友の会

3階病棟 病棟クラーク

石松 宏子

3月25日、第40回玄真堂友の会が感染対策の下、開催されました。ケーナの素敵な演奏から始まり、和やかな雰囲気での幕開けでした。

今年「骨折予防 骨折に負けない体づくり」のテーマ



で、川島院長による「整形外科領域における最新治療」と、永芳クリニック所長による「丈夫な骨をつくりましょう」の講演が行われました。川島院長からは、血液から自己治療力を高める再生因子を生成し、患部に注入して細胞の修復を促す「再生因子注入療法」について貴重なお話がありました。

また、永芳クリニック所長からは、「老化現象をネガティブにとらえるのではなく、今の自分を見つめ、ありのままの自分を受け入れる。検査結果に一喜一憂することなく今の自分にできることを考えましょう」と心が浄化される内容のお話がありました。参加

## 第31回院内TQM発表会を終えて

病院内ハビリテーション科回復期

作業療法士 安田 翔

2023年3月4日に院内TQM発表会が開催されました。私達は、家屋調査におけ



るスタッフの業務内容改善と、患者満足度向上に着目しTQM活動を行いました。コロナ禍という状況でシステム構築により患者満足度の向上が図れ、自宅退院時の不安軽減をできたことが評価され、見事1位を頂くことができました。今回の1年間のTQM活動を通して、改めて自宅退院の際、回復期病棟のリハビリとして患者様に関わることの難しさや患者様からの感謝の言葉を

頂いた時の達成感を感じることができました。TQM活動で行ったことは継続し、より一層精進していきたいと思えます。今回の活動を通して協力を下さった皆様方、本当にありがとうございました。



された会員の皆様が、熱心に耳を傾けている姿を見て、講演内容に対する関心の高さを感じることができました。

1年に1回の開催でコロナ禍のため、参加に対する制限はありましたが、盛会に終了することができました。

今回、ご参加いただきありがとうございました。また来年も開催でき、皆様の笑顔に会えることを楽しみにしたいと思います。

## 『瑞宝小綬章』受章のお祝い

この度秋の叙勲において、当法人の別所統括顧問が『瑞宝小綬章』受章の榮譽に輝かれましたことを心よりお慶び申し上げます。これまで自衛隊で御活躍された実績の賜物と感服いたしております。今後も御活躍されますことをお祈り申し上げます。





## 春

クリニック所長 永芳 郁文

子供のころ、何度も読みかえした1冊の絵本をよく思い出します。

昔、病んだ人々の世話をしていた一人の女性。ある日、全身が傷と膿だらけだった1000人目になる病人が「全身の膿を吸い出してください」と懇願しました。女性が全ての膿を吸い出し終わると、その男は燦然と光り輝く姿に変わり、こう告げたのです。「私は仏である」と……

御存じの方も多いと思いますが、奈良時代の光明皇后の施浴伝説であります。貧しい人々の救済に心を砕いた人々の物語。看護、医学論など観念的な学問的解釈ではなく、心にダイレクトに響き、しみ込んでくる何か。お釈迦様の説いた教え、慈悲のこころを子供に伝える素晴らしい絵本だったなあと、今あらためて思い返すのであります。



歳を重ねるごとに変わっていく言葉の意味と味わい……  
如来慈光の春、今日の1日に手を合わせ、また丁寧に過ごしたいと思っております。

話は遡りますが、父の葬儀後、お経本にいくつもの書き込みを見つけました。晩年は『お寺に連れて行って』とよく言っておりましたが、宗教には縁遠い教師であった父の心境は何だったのか？あの時、もつと話しておけばと後悔しつつ、9年が過ぎ去りました。しかし、それはまた同時に、よき師、よき友との出会いに恵まれる日々でもありました。「仏かねてしろしめして」ゆえの「遠く宿縁を慶べ」……頂いてきたご縁にただただ頭が下がるばかりであります。汲みつくせない世界にたえず「愚」ゆえの「求」……お寺で聴聞しては書き込みをする父の姿が目には浮かぶようになりました。

## 反響の大きかったブログをご紹介します

当法人には、医療職や介護職を含め様々な職種のスタッフがいます。それぞれの専門職が、日々感じたことや思いを、『かわしまさん介護のすゝめ』と題したブログにて、毎週更新しています。今回は、反響の大きかったブログを1つ紹介したいと思います。



### 「ケアマネジャー 1年生」

ケアマネジャーの小鉄です。

9月から勤務をさせて頂いている、ケアマネジャー 1年生です。

祖母の入院を機に、介護の世界に入ってから18年、介護の新たな分野に挑戦したいと思い、猛勉強をして、やっと介護支援専門員試験に合格することができました。

ケアマネジャーの仕事始めてからは、学ぶことの多い日々を過ごしております。

利用者様、ご家族との関わり方、行政・医療機関・事業所との連携など、経験の浅い私に、先輩方が沢山アドバイスを下さり、本当に感謝の毎日です。

利用者様の笑顔が少しでも多くみられるように、また、この人が担当ケアマネジャーで良かったと思って頂けるようなケアマネジャーになれるように日々努力をしていきたいと思っております。

そして、一番に子ども達に「俺らの母ちゃん、カッコイイ!!」と認めてもらえるようなカッコイイ母ちゃんになれるように頑張りたいと思っております。

2022.12.9更新分

興味を持たれた方は、ぜひ一度見ていただけたら幸いです。川島整形外科病院のホームページからもご覧いただけます。

スタッフほのぼのブログ  
毎週更新中です

かわしま 介護 ブログ



こちらからも  
アクセスできます♪



もしもの備えに!

# ムリなくムダなくできる食品備蓄のコツ

栄養管理科 齋藤 潤哉

今後発生が予想されている巨大地震や異常気象による災害。皆さんは万一の災害に備え、食品の備蓄をしていますか？

これまでに起きた大きな災害をみると、ライフラインが復旧するまで1週間以上、支援物資が到着するのは発生後3日ほどを要することが多いようです。また、災害が起きると物流機能が停止し、スーパーやコンビニでも1週間程度食品が手に入りにくくなるのが想定されます。このため、最低3日分、できれば1週間分×必要人数分の家庭備蓄が望ましいといわれています。しかし「備蓄」ときくと、何から始めたらいいのか分からなくて難しく感じるかもしれません。

そこで、何をどれだけ、どういう方法で備蓄するのか。気軽に始められる食品備蓄のポイントを紹介します。また、災害時だけではなく新型コロナウイルスが発生し、不要不急の外出を控える必要が生じた際にも活用でき、今日の買い物からすぐに試せる内容ばかりなので、ぜひご一読ください。

## 家庭備蓄の目安量

農林水産省が「災害時に備えた食品ストックガイド」で示した備蓄例は以下のとおりです。

家庭備蓄の例 1週間分/大人2人の場合

<b>必需品</b> 	水 2L×6本×4箱 ※1人1日およそ3L程度 (飲料水・調理用水)	カセットコンロ カセットボンベ×12本 ※1人1週間およそ6本程度	<b>主菜</b> たんぱく質	レトルト食品 ・牛丼の素/カレー等18個 ・パスタソース6個	缶詰(肉・魚) ・お好みのもの18缶
	<b>主食</b> エネルギー 炭水化物	米 2kg×2袋 カップ麺類×6個		乾麺(うどん・そば・そうめん・パスタ) ・そうめん2袋(300g/袋) ・パスタ2袋(600g/袋) バックご飯×6個	<b>副菜                  その他</b> (適宜)

農林水産省「災害時に備えた食品ストックガイド」より

## 取り組み方のポイント

備蓄する食品を選ぶポイントは「普段から食べ慣れた物、好きな食べ物の中で、いざというときに備えておきたい食品」を中心にするのが大切です。災害時は、ただでさえつらく、我慢するのはストレスがたまります。好きな物やおいしいと思うものを備蓄しておくことで、ストレスを少しでも和らげる効果も期待できます。

- 1 家庭にある食品をチェック
- 2 栄養バランスを考え、家族の人数や好みに応じた備蓄内容・量を決定。
- 3 足りないものを買って足す
- 4 賞味期限が切れる前に消費し、消費したものは買い足す。

## ローリングストック

「ローリングストック」とは、毎日の食品をいつもより少し多めに購入しておき、賞味期限が近づいたものから消費し、その分を新しく買い足すことを繰り返すことで、「賞味期限内の食品」が「常に」「一定量」家庭内にストック(備蓄)されている状態を保つ方法です。



## 災害時の栄養

発災直後の混乱の中、食事で最優先することは、エネルギーと水分の補給です。その後はライフラインの復旧状況や支援物資の配給計画に沿って、たんぱく質やビタミン、ミネラルが不足しないように注意することが重要となります。

	ライフライン停止・物流停止		電気復旧・物流再開 (1週間以内)		水道復旧・ガス復旧 (2~3週間) (1ヵ月程度)	
	フェイズ0 発災から24時間以内	フェイズ1 72時間以内	フェイズ2 4日目~1ヵ月	1日目	2日目	3日目
水	1人1日3リットル					
栄養管理	・エネルギー補給を中心に ・水分補給を意識する			・たんぱく質、ビタミン、ミネラル不足への対応 ・水分補給を意識する		
冷蔵庫の食品	・備みやすい食品 (生鮮食品、調理済み食品) チルド惣菜、野菜類			・ライフラインの回復 ・物流の回復		
冷凍庫の食品	・自然解凍で食べられる冷凍食品 ・簡単な調理で食べられる冷凍野菜 (冷凍ほうれんそうなど)			・店舗販売再開 ・平常時の食生活へ		
ローリングストック	・冷凍・冷蔵庫の食品と組み合わせて 主菜・副菜として食べる			・レトルト食品、缶詰 バックごはん、常備菜、乾物、 無洗米、栄養補助食品など		
非常食品	・すぐに食べられる食品 (乾パン、クラッカーなど)			・主食となる食品 (アルファ化米、 長期保存パンなど)		

【出典】伊藤 智：災害食BOOK、神戸学院大学

災害に備えて家庭でできる食品備蓄についてご紹介しました。

今回、ご紹介したポイント以外にも、要配慮者\*は特に必要な食品が手に入りやすくなるのが想定されるため、平時から少なくとも2週間分を備蓄するなど違ったポイントもあります。また、災害時を想定しポリ袋調理などを経験しておくことも重要となります。大規模災害はいつ起こるかわかりません。有事に備え余裕を持って準備しておきたいものです。このコラムが読者のみな様の災害への備えの一助になれば幸いです。 \*乳幼児・高齢者・食べる機能が弱くなった方・食物アレルギーや慢性疾患をお持ちの方など

政府広報  
オンライン



農林水産省  
災害に備えた  
食品ストックガイド



2023.2.5

- 第25回大分県理学療法学会 (大分県)  
「仙腸関節障害に対するSwing石黒法による治療効果の検討」  
辛嶋リハビリテーション部副主任発表
- 「クリニカルリーズニングに基づいた治療戦略が奏功した偽性麻痺肩の一症例」  
谷理学療法士発表
- 「大腿骨転子部骨折患者において起立動作に着目した一考察」  
田西理学療法士発表
- 「右THAの治療経験 ～歩容改善に着目して～」  
田畑理学療法士発表
- 「人工骨頭置換術を施行した症例の初期介入について～急性期での腫脹管理～」  
前田理学療法士発表
- 「重度のPilon骨折による長期免荷後に早期正常歩行獲得を目指した一症例」  
吉野理学療法士発表
- 「痙直型脳性麻痺患者が大腿骨転子部骨折を呈し歩行獲得に難渋した症例」  
河内理学療法士発表
- 「人工膝関節全置換術後に圧迫骨折を呈した症例～再転倒防止に注力～」  
馬場理学療法士発表
- 「変形性膝関節症を有する大腿骨頸部骨折術後症例における膝伸展筋出力改善に着目した一考察」  
川野(真)理学療法士発表

## 院内勉強会

### モーニングセミナー

- 2022.12.16  
「肘関節脱臼」  
古江副院長
- 2023.1.20  
「膝診療におけるMRIの有用性」  
本山副院長
- 2023.2.24  
「一年間を振り返って」  
半田医師

### カワシマハンドセラピー研究会

- 2022.12.19  
「症例報告」  
永田・大鶴作業療法士

## 院外発表・講演

- 2022.12.3  
令和4年度公益財団法人日本スポーツ協会公認軟式野球競技コーチ1講演会 (大分県)  
「ジュニア選手の指導実習」、「発育発達期の子供への指導」(障害予防・水分補給)  
奥村リハビリテーション部科長講演
- 2022.12.11  
第10回日本マイクロ・ナノバブル学会 (宮城県)  
「高気圧酸素治療とオゾンナノバブル水を併用した化膿性骨髄炎の治療」  
川島院長発表
- 2022.12.22  
大分県立佐伯豊南高等学校 野球部講座 (大分県)  
「ケガを予防する身体の使い方」～最大限のパフォーマンスを発揮する工夫～  
奥村リハビリテーション部科長講演
- 2023.1.8  
中津地方文化財協議会 (中津市)  
「日露戦争ゆかりの松山市を訪れて～戦争と平和について考える～」  
川島理事長講演
- 2023.1.11  
北九州リハビリテーション学院 1年生 授業 (福岡県)  
「整形外科領域における病期別の理学療法の実際」～急性期・回復期のリハビリテーションについて～  
奥村リハビリテーション部科長講演
- 2023.1.22  
第26回大分県作業療法学会 (大分県)  
「正中神経及び環指伸筋腱断裂を受傷した中学生に対する作業療法経験」  
榎木作業療法士発表
- 2023.1.28  
第44回九州手外科研究会 (沖縄県)  
「ulna 0 varianceの尺骨突き上げ症候群と診断し、尺骨短縮術を行った症例」  
古江副院長発表
- 「小児肘頭滑車切痕部に骨折を生じた1例」  
後藤診療副部長発表
- 2023.1.28  
第14回九州ハンドセラピー研究会学術集会 (沖縄県)  
「掌側転位型橈骨遠位端骨折術後の手根骨掌側亜脱臼が機能回復に及ぼす影響—関節可動域と握力に着目した検討—」  
奥貞作業療法士発表

## 膝関節勉強会

- 2023.1.11  
「2022年度の膝症例を振り返って」  
本山副院長
- 2023.2.8  
「膝関節の可動域制限について」  
斎藤リハビリテーション部主任

## 看護部勉強会

- 2022.12.5  
「院内トリアージ：～知ってほしい！見逃したらこわーい疾患とキーワード～」
- 2023.2.3  
「認知症・せん妄について」



「掌側転位型橈骨遠位端骨折術後の手根骨掌側亜脱臼が機能回復に及ぼす影響」

奥貞作業療法士

- 2023.1.16  
「症例報告」  
岸本リハビリテーション部副主任・榎木作業療法士
- 「手根不安定症～舟状月状骨不安定症について～」  
大鶴作業療法士

- 2023.2.20  
「症例報告」  
中埜・川端作業療法士
- 「中手骨骨折について」  
阿部作業療法士

## 川島肩をカタろう会

- 2023.1.30  
「腱板広範囲断裂に伴う偽性麻痺肩について」  
谷理学療法士
- 2023.2.27  
「結帯動作について」  
三代理学療法士

## 医局抄読会

第1、2、4火曜日の朝7時45分スタート

- 2022.12.13  
症候性変形性膝関節症の治療に対する膝関節動脈塞栓術  
川島院長
- 2022.12.27  
断裂の特徴を基にした人の腱板筋における組織学的な相違  
佐々木診療部長
- 2023.1.10  
屈筋腱修復時の修復強度、滑走抵抗におけるTSOL縫合の影響  
後藤診療副部長

- 2023.1.24  
転位を有した中手骨骨幹部骨折に対する保存療法と手術療法の比較  
前向き非劣性無作為化比較試験  
太田医師
- 2023.2.7  
新鮮アキレス腱断裂の保存的治療と外科的治療との比較  
半田医師
- 2023.2.14  
ACL修復術後の同側ACL再手術に関する術前危険因子  
本山副院長
- 2023.2.28  
鏡視下手根管開放手術+反回枝開放手術の必要性  
古江副院長

## 論文（共同含）・誌上発表

●川島真人：「三津同盟」と中津藩 蘭学・洋学，中津市医師会会報，Vol65，30-34，2022



# マイ箸運動

省資源・省エネルギー委員長  
知念 晴美



私たちが生活していく上で  
欠かせないもの。  
それは「食事」です。

日本で生まれ育った方のほ  
とんどは「お箸」を使用して  
食事をするのではないでしょ  
うか。

「お箸」がSDGsに貢献  
できるアイテムとして注目さ  
れているのはご存じですか？

そもそもSDGsとは20  
16年〜2030年という期  
間の中で設定されている17個  
の目標を達成し、こうなって  
欲しい世界の姿を実現しよう  
という活動です。

日本でもスーパーやコンビ  
ニでビニール袋を有料化した  
だけでなく、プラスチック製  
のカトラリーを廃止するよう  
な脱プラスチック化が始まっ  
ています。

自分専用の箸を持ち歩くこ  
とで余分なカトラリーをもら  
わずに済み、ゴミも出ないた  
め、マイ箸は今、注目のアイ  
テムなのです。

プラスチックに比べ、割り



箸の方がエコだと思う方もい  
らっしゃると思いますが、日  
本での割り箸の消費は年間1  
90億膳と言われています。

SDGsでは森林保護に関  
わる目標も設置されているた  
め、割り箸はエコな取り組み  
とは言えないのです。

省資源・省エネルギー委員  
会では、SDGs活動の一環  
として全職員にマイ箸の持参  
を呼び掛けています。

SDGsの実現にむけてマ  
イ箸はとても大切なアイテム  
です。

ぜひマイ箸を持ち歩くこと  
を検討してみてくださいね。

## 編集後記

春の日差しが心地良い季節となりました。  
当院でも新入社員を迎え、緊張感の中にも活気にあふれる表情に  
私も身が引き締まる思いです。  
さて、ラ・サンテは春号をもって新メンバーへバトンタッチする事  
になります。  
一年間、作成に携わる事ができ、感謝の気持ちでいっぱいです。  
本当にありがとうございました。引き続き、ラ・サンテをご愛読  
いただけると幸いです。  
(Y・H)

### 【患者様の権利と患者様の責務】

患者様は、個人としての尊厳が守られ、平等で最善の医療を受ける権利を有するとともに、医療を効果的にするために守って頂きたい事項があります。

#### 〔患者様の権利〕

1. 病気の種類や個人的背景に関係なく、平等に医療を受ける権利があります。
2. 人格は尊重され、医療提供者との相互協力関係のもとで最善の医療を受ける権利があります。
3. 医療に関して十分な説明、情報を求める権利があります。
4. 医療内容について自分で選択し決定する権利があります。
5. 自己の意思に反する医療を拒否する権利があります。
6. 自己の診療記録の開示を求める権利があります。
7. プライバシーや個人情報を保護される権利があります。
8. 健康維持のため教育やサービスを受ける権利があります。
9. 安全を確保される権利があります。

#### 〔患者様の責務〕

1. 医療提供者に対し、患者様ご自身の健康に関する情報の提供
2. 他の患者様の療養生活に支障を与えない配慮
3. 早期回復の為、医療提供者が定めた規則の遵守
4. 円滑な医療行為の為の、患者様・ご家族の積極的な医療への参加
5. 早期回復の為の、患者様・ご家族の積極的な医療への参加
6. 診療費の遅滞ない支払い